

参考-3

学習用ブックリスト作成のための授業者への聞きどころ

平成 22 年度のプロジェクトにより、効果的な教科学習の支援には、授業者の頭の中にある授業の意図を図書館員が正確に把握することが大切であると分かりました。そのために行う授業者へのインタビューでの“聞きどころ”について、平成 22 年度プロジェクトを通じて得られた案をご紹介します。平成 23 年度のプロジェクトでは、この平成 22 年度案の検証を行っていく予定です。

	授業者への聞きどころ（平成 22 年度案）
授業 につ いて	教科単元
	生徒の調べ学習の経験
	単元の学習目的（生徒に学んでほしいこと）
	授業の日程
	授業時間数（うち、資料を使う時間数）
	授業をする場所
	授業スタイル（例：8 班に分けたグループ学習）
	授業の中で本を使う意図 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">                     調べ学習の場合は、以下のどちらか                      ① 授業の一段階での調べ作業、② 自由研究的な調べ学習                 </div>
資料 につ いて	必要な本の主題（⇒選書用キーワードとして作成）
	刊行年の新しさ
	インターネットの使用可否
	資料に載ってほしい情報（例：統計、写真）
	絵本・読物の扱い
	大人向け一般書を含めるか
	複本の必要性
	必要な本の量（生徒一人当たりの冊数） 授業後の発展学習用資料の提供を希望するか（例：学校図書館でのコーナー展示）
資料 以外	図書館員による授業時間中のサポートを希望するか （例：調べ方の説明、資料の説明、随時の指導 など）
	生徒用に情報源リストやパスファインダーの提供を希望するか